

# 志教育の全体計画

宮城県宮城野高等学校

生徒の実態		学校の教育目標		保護者・地域の願い	
<ul style="list-style-type: none"> <li>他者に対して思いやりをもって接しているが、自分の考えを積極的に表現できない。</li> <li>将来に向けて明確な目標をもって生活している生徒が多い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自己教育力と自由</li> <li>個性尊重と自己管理</li> <li>高い目標と努力</li> <li>共生と奉仕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>将来に向けて粘り強く努力できる生徒の育成。</li> <li>自分で考えて行動し、自立しようとする生徒の育成。</li> <li>よりよい人間関係を築き、周囲への思いやりをもって協力・協働できる生徒の育成。</li> </ul>	
教師の願い		志教育の目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変化に主体的に対応し、人や社会とのかかわりを大切にしながら、夢を志に高め、社会に貢献できる人材を育成する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高い目標をめざして自己実現を図ろうとする生徒の育成</li> <li>異質な他者と共同できるたくましく思慮深い生徒の育成</li> <li>広い視野から目標達成に柔軟に対応できる生徒の育成</li> </ul>			
重点指導事項					
	かかわる 人とかかわる力 自分と向き合う力		もとめる 学び深める力 創る力		はたす はたす力
1年次	よりよい人間関係を構築する態度を身につけさせる。	自己を理解し、自己を律する力を高めさせる。	自己の可能性を高めるために学習に主体的に取り組ませる。	将来の進路について自己の可能性を検討させる。	学校や社会において自己の役割を自覚させ、取り組ませる。
2年次	リーダーシップやフォロワーシップを積極的に発揮させる。	社会的な存在としての自己の在り方生き方について認識を深めさせる。	進路に関する具体的な構想を描かせ、学習内容の深化を促す。	問題解決能力と表現力を養い、発信力を高める。	社会性を育て、主体的に社会に貢献する態度を養う。
3年次	互いを高め合う人間関係を積極的に形成し、感謝の心を養う。	自己実現の可能性について客観的に吟味させる。	進路目標の実現に向けて、知識・技能の深化・総合化を促す。	自ら課題を設定し、その解決に主体的に取り組ませる。	社会の要請に応えながら、自己の進路目標を実現させる。
各教育活動における取り組みの観点					
各教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の魅力を理解させ、学習する意欲を高める。</li> <li>知識基盤社会を積極的に生きるための基礎的・基本的な知識やスキルを身に付けさせる。</li> <li>社会の変化に柔軟に対応できる読解力や表現力、問題解決能力を育てる。</li> </ul>		特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームルーム活動やサークル活動を通して、集団や社会の一員として、他者と良好な関係を作る力を育む。</li> <li>体育行事実行ボランティアや文化的行事実行ボランティアその他のボランティアで自律的に活動する力を育む。</li> <li>各種スタッフとして全体の中で個人的な活動を設計し、献身的に活動する力を育む。</li> </ul>	
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科横断的な学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、問題を解決する「生きる力」を育てる。</li> <li>体験を重ねる中で情報編集能力を高め、広い視野から問題解決に向かう主体的・創造的な態度を育成する。</li> <li>自己の可能性や将来について深く考えさせ、自己実現を果たすために不可欠な自己教育力を育てる。</li> </ul>		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの場にふさわしいルールやマナーが自律的に醸成されるよう配慮する。</li> <li>佇まいが人を育てる。施設・設備を整備し、環境美化に努める。</li> </ul>	
家庭との連携			地域や企業との協働		
<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望調査や三者面談等の機会を通じて、保護者との連携を充実させる。</li> <li>P T A行事や懇談会、学校行事への案内を活発に行い、家庭との意思疎通をはかる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人材を積極的に活用し、あるいは学習成果を積極的に地域に発信することを通じて、よりよい互惠関係を築く。また、その過程で生徒自身が社会経験を積み、自信を深めることができるよう工夫する。</li> </ul>		

平成28年度 宮城野高等学校「志教育」年間指導計画

「◎」特にあてはまる  
「○」あてはまる

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	公民	○	○	数学	○	○	理科	○	○		
	読解力を身につけさせ、他者の気持ちを適切に受けとめる感受性と論理的な思考力を育成し、問題解決能力を向上させる。			日本と世界の歴史・地理を学ぶことで異なる文化やその根底にある異なる価値観に対する理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献できる資質を養う。			先哲の思想から人間の社会的存在に対する関心を高め、複雑な現代社会の仕組みについて理解することで主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。			自ら意欲的に学ぼうとする態度と数学的なものの考え方を理解し、活用する能力を育て、問題解決能力を向上させる。			自然の事物・現象への関心を高め、実験観察を通して科学的に探求する能力と態度を養い、社会に貢献する人材を育成する。					
	保健体育	○	○	芸術	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	情報	○	◎	○	
	保健と体育の内容を関連づけながら、健康の自己管理能力を高め、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。			芸術の幅広い諸活動を通して生涯にわたって芸術を愛する心情を育てるとともに、豊かな情操を養い、表現力を高める。			英語を積極的に習得し使う場面を増やすことで、異文化交流を深め、国際化にふさわしい態度と教養を身につける。			健全な家庭や社会生活についての知識と技能を習得し、男女がともに協力して自己の役割や責任を果たす態度を育てる。			情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得し、情報化の進展に他と協同して主体的に対応できる能力と態度を育成する。					
年次共通					かかわる	もどめる	はたす	各年次指導目標										
指導内容	①あいさつの励行			◎			1年	○高校生としての自覚を持ち、基本的な生活習慣の確立を目指す。 ○諸行事を通して自己理解と他者との関わりの大切さを理解する。 ○進路意識を形成し、社会で生き抜く分野について主体的に考えさせる。										
	②友人との良好な人間関係、教職員との節度ある師弟関係の構築			◎	◎			2年	○基本的な生活習慣を確立し、校内外での規範意識を育てる。 ○様々な活動を通して、自主性・協調性・主体性を育成する。 ○自己理解と進路意識を形成し、社会参画・貢献の意識を育てる。									
	③ベル着の励行と課題提出の徹底				◎	◎	3年		○互いに高め合える人間関係を形成する姿勢を育てる。 ○進路に関する具体的課題を設定するとともに、将来の社会貢献への意識を高める。 ○進路達成のための強い意志と、自らの達成計画に邁進する行動力を培う。									
	④場にふさわしい服装とマナーの育成				◎	◎			3年									
	⑤清掃活動の徹底			◎		◎												
指導内容					ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす				
1年	*4 自分史を書く			学校や社会で自己を生かすために、自己理解とコミュニケーションが重要であることを認識する。			総学		4月	1	○	○						
	学問・職業・社会を知る(グループ研究・発表)			様々な学問・職業分野を知ることによって自己の適性を知り、主体的に進路を考える姿勢を身につける。			総学		4～9月	10	○	◎						
	*1 デイバート(グループ研究・発表)			討論を通して他人の意見をよく聴き、自分の考えを主張する力を養う。社会への関心を高める。			総学		10～12月	7	◎	○	○					
	*2 宿泊研修(事前・事後学習)			訪問地の事前研究や研修後のまとめ・報告を通し、課題意識を持ちながら、得たものを論理的にまとめ、自分の意見を述べる方法や形式を学ぶ。			総学		1～2月	7	◎	◎	○					
	小論文を書く			物事を様々な側面から考え、論理的に自分の意見を述べる方法や形式を小論文を通して学ぶ。			総学		1～2月	6	○	◎						
*1 ライフプランの作成			文章にまとめる活動を通して自己の在り方生き方を考察し、他者理解の一助とする。			家庭基礎		2月	2	○	◎	○						
2年	研究テーマに関わる社会問題について知る			各自が研究したいテーマに関わる社会問題に触れ、そのまとめを通して理解を深め、社会への関心を高める。			総学		4～12月	5	◎	◎						
	個人プレゼンテーション			予め編成済みの班内で、各自が研究したいテーマについて発表し、自己の関心を明確にする。			総学		4月	2	○	○						
	グループ研究テーマ決め			プレゼンをもとにグループ(4～6人)を編成し、研究計画を立てる中で自己の課題を明確にする。			総学		5月	2	○	○						
	訪問学習の計画			研究計画をもとに訪問先と研究の進め方について話し合う中で、自己の主張と相手への配慮の大切さを学ぶ。			総学		6・7月	2	○	○	○					
	訪問学習の実施			夏季休業中にグループ訪問学習を行う。計画書に基づいて課題解決の糸口を探し、訪問先では礼儀正しく対応する。			総学		8月	3	○	◎	◎					
	訪問学習の報告			グループ毎に学習の成果を班内で報告する。パワーポイントなどで分かりやすく発表する。			総学		9月	1	○	○						
グループ課題研究とその発表			グループで課題研究に取り組んだ成果を発表し、レポートにまとめ、成就感を得る。			総学		11・2月	4	◎	◎	○						
3年	進路講演会			進路意識の高揚、生き方の模索、職業観の育成をめざす。			学年行事		5月	3		◎						
	先輩に聴く			自己の進路目標に沿った講座を1つ選び、卒業生の講話を聴くことにより、進路意識を高める。			学年行事		6月	3	○	◎						
	*3 プロジェクト・スタディ(課題研究)			個人課題研究を行う。成果を発表し、論文にまとめ、自己の課題を深化させる。			総学		7～9月	16	○	◎	◎					
	*2 フロンティア・タイムⅢ(課題研究)			卒業制作に向けての取り組みと関連させ、深化と総括化をはかり、作品と論文を完成させる。			総学		11～1月	7	○	◎	◎					

\*1は総合学科と普通科、  
\*2は美術科、\*3は総合学科、\*4は普通科のみの活動

普通科合計時数	51
総合学科合計時数	67
美術科合計時数	56